

平成30年度

水産業・漁村を支える  
担い手の確保育成事業

漁業就業体験レポート集



## はじめに

本県では、木曾三川などの多くの河川が流入する伊勢湾海域、リアス式海岸の鳥羽・志摩海域、黒潮の影響を強く受ける熊野灘海域など、変化に富んだ海域・地勢のもとで様々な漁業が行われています。

しかし、個人経営者が大半を占め、海が職場となる漁業では、高校生や大学生が在学中に就業体験に参加する機会が少なく、本県での漁業就業に関心を持つ若者に、漁業の実態や魅力が十分に伝わっていないのが実情です。

このような中、本県では平成28年度から、高校生や大学生を対象にした漁業就業体験（インターンシップ）に取り組み、今年度も6校から10名の皆さまに参加いただきました。

つきましては、参加者から寄せられたレポートを取りまとめましたので、ご覧いただく高校生や大学生の皆さまにも、参加者が実感した「漁業という職業の魅力」を感じていただき、卒業後の選択肢の一つとして、本県での漁業就業を考えていただく一助となれば幸いです。

末筆ではございますが、本インターンシップに参加していただきました高校生や大学生の皆さま、インターンシップ生を受け入れていただきました漁業者の皆さま、ご協力いただきました関係教育機関の皆さまに感謝申し上げます。

平成31年3月

三重県農林水産部水産資源・経営課

## 目次

1	漁業就業体験レポート紹介 .....	1
(1)	愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生/魚類養殖業 ...	1
(2)	和歌山県立和歌山高等学校 総合学科 3年生/まき網漁業等 ...	5
(3)	法政大学 キャリアデザイン学部 2年生/真珠養殖業 .....	8
(4)	大阪府立すながわ高等支援学校 2年生/カキ養殖業.....	11
(5)	三重大学 生物資源学部 2年生/魚類養殖業.....	13
(6)	三重県立水産高等学校 海洋・機関科 1年生/定置網漁業.....	16
(7)	三重大学 生物資源学部 3年生/魚類養殖業.....	18
2	漁業就業へのステップと支援制度.....	20
3	漁業就業体験実施場所位置図.....	21

## 1 漁業就業体験レポート紹介

### (1) 愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生/魚類養殖業

体験概要	
体験期間	平成30年8月5日～9日(5日間)
受入漁業者	尾鷲市林町 尾鷲物産株式会社
体験漁業/魚種	魚類養殖業/ブリ
体験内容	給餌作業見学、生簀網替え、加工場見学など
実習生	愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生 4名

※魚類養殖業…海上での魚類養殖は、海面に設置した網生簀で魚類を養殖して出荷します。1年半～3年ほどかけて養殖するのが一般的です。早朝から給餌を行うほか、出荷や網交換の作業なども行います。

実習生レポート(愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生 A)	
志望動機	<p>今回、インターンシップを志望した理由は、1年生のときに水族館でのインターンシップに参加していたのですが、自分の視野を広げなかったからです。</p> <p>学校に来て講話をしてくださった時に、その講話を聞いた友達が「とても良かった」と話していて、詳しく内容を教えてもらい、次回は尾鷲物産に行きたいと考え、志望しました。</p>
体験の目標	6次産業化について学ぶ
目標の達成度	加工までの流れはわかったけど、販売については学び足りなかったです。
新たに発見したこと	働いている人たちは、自分の仕事に対してプライドを持って仕事をしているということです。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	尾鷲物産では養殖から販売までの見学、体験ができるので、自分に合う仕事があったり、水産業の良さなどを学べるので、自分から進んで行動すると思います。

実習生レポート(愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生 B)	
志望動機	自分は、養殖に興味があり、さらに尾鷲物産では生産から加工・販売と六次産業を行っていると聞いて、将来就職先を決めるときに役立つと思い、インターンシップを志望しました。今は、将来は養殖業に就きたいと思っていますが、今回のインターンシップで将来の選択肢の幅を広げたいと思っています。

体験の目標	養殖業について知る。
目標の達成度	養殖で何を行っているのか、どんな作業が必要か知ることができた。
新たに発見したこと	マグロ延縄漁業では、けがをしても加工場などの違う仕事に変更できたりするので、安心して漁業などの選択ができると感じた。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	六次産業と幅広い仕事があるので、選択肢が多いのでいいと思います。

実習生レポート（愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生 C）	
志望動機	<p>僕は将来、養殖業に就きたいと思っています。</p> <p>ですが、まだどんな魚を養殖したいかなどが全く決まっておられません。なので、様々な養殖場を見学させてもらい、様々な生物ややり方を学び、最終的に自分が仕事に就く時に、養殖したい生物などを決められるようにしたいと思っています。</p>
体験の目標	将来、養殖の仕事に就きたいので、養殖の知識や技術を学び実際の仕事風景を見たかったから。
目標の達成度	養殖について知りたいことを知ることができ、自分で考えること、努力すること、学んだことをまとめる大切さ、人に伝えることの難しさを知ることができた。
新たに発見したこと	自分の好きな仕事がしたいのだったら、それ相応の覚悟が必要で、我慢しないといけないこともたくさんある。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	たくさんのインターンシップに行って、体験して、自分の目で見ないとわからないことがたくさんあるから、一つに決めないでいろいろな所へ行ったほうがいいと思う。

実習生レポート（愛知県立三谷水産高等学校 海洋資源科 2年生 D）	
志望動機	<p>将来は養殖業に就職したいと考えており、実際に養殖の仕事を体験することで将来の役に立つと思い、尾鷲物産のインターンシップを志望しました。</p> <p>また、春のインターンシップでは自営の養鰻場のインターンシップをしているので、会社と自営で養殖を営むことの違いを知りたいです。</p>

体験の目標	養殖業について知る。
目標の達成度	実際に体験してみて、朝が早いこと、自分が思っていたよりもハードな仕事であることを知った。
新たに発見したこと	企業として社員に対する待遇がとても良いことを知った。養殖業を体験して、とてもハードな仕事であることを知った。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	自分のやってみたい職業があるならインターンをして自分に合っているか、また、現場の人がどのような仕事をしているのか知ると良いと思います。

受入漁業者実施報告（尾鷲物産株式会社）	
実習生の評価	<p>A 指示説明をしっかりと聞き、工程をよくこなしていました。海上作業でも、女性一人の中でよく頑張っていました。</p> <p>B 非常にまじめで一つひとつの行程を丁寧にこなしていました。指示や呼びかけにも大きな声でしっかり応えていました。</p> <p>C 指示をよく聞き、周囲をよく見て動こうと頑張っていました。何事にも慎重で、確実な作業を心がけていました。</p> <p>D 様々なことに興味を持ち、意欲的に取り組んでいました。積極的に質問をして、自ら様々なことにチャレンジしていました。</p>
就業体験受入による成果	<p>初めての高校生の受入でしたが、理解度・吸収度の高さに驚き、成長の大きな可能性を感じました。</p> <p>後輩のいない若手社員が、危険の伴う現場で、複数のインターン生に指導することで気づき（指示・説明等伝える難しさ、周囲に気を配ること）が持てました。</p>
実習生へのメッセージ	<p>5日間お疲れさまでした。慣れない土地、見知らぬ人たちの中で緊張もある中、よく頑張りました。</p> <p>常に興味を持ち、前向きにインターンシップに取り組む姿勢は、すばらしかったです。ゆくゆく、水産業界で活躍されることを楽しみにしております。</p>
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	<p>行ってみなければわからない、見てみなければわからない、イメージと全く異なる貴重な体験になると思います。</p> <p>少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。</p>



(2) 和歌山県立和歌山高等学校 総合学科 3年生/まき網漁業等

体験概要	
体験期間	平成30年8月5日～9日(5日間)
受入漁業者	度会郡大紀町錦 双葉漁業生産組合(まき網漁業) 幸盛丸 西村 貞利(定置網漁業) 長栄丸 西村 長樹(養殖業)
体験漁業/魚種	まき網漁業(※)/アジ、サバ、イワシ等 定置網漁業(※)/雑魚 養殖業(※)/マダイ
体験内容	まき網漁業/網船乗船、操業、魚群探索など 定置網漁業/網起こし、水揚げ、網抜き作業など 養殖業/出荷作業、網補修など
実習生	和歌山県立和歌山高等学校 総合学科 3年生

※まき網漁業…魚群を網で包囲して遊泳経路を断ち、網を絞り込んで漁獲する漁法です。魚群を探す船、魚群を集魚灯により集める船、魚を漁獲する船、漁獲した魚を運ぶ船などが船団を組んで操業します。夕方出港し、翌朝帰港して水揚げ作業を行います。

※定置網漁業…魚の通り道(魚道)に網を設置して魚群を誘導し、網に入り込んだ魚を漁獲する漁法です。早朝に出港して網に入った魚を漁獲し、帰港して漁獲物の選別作業などを行います。

※魚類養殖業…海上での魚類養殖は、海面に設置した網生簀で魚類を養殖して出荷します。1年半～3年ほどかけて養殖するのが一般的です。早朝から給餌を行うほか、出荷や網交換の作業なども行います。

実習生レポート(和歌山県立和歌山高等学校 総合学科 3年生)	
志望動機	今年の3月ごろに漁師体験を2日させてもらい、次は長期で実際にもっといろいろな体験をしたいと思ったからです。
体験の目標	漁師が自分に合っているかハッキリさせる。
目標の達成度	漁師の仕事をより深く知ることができたので良かったです。
新たに発見したこと	漁師の仕事はイメージよりも大変ではありませんでした。自然が相手なので予測しにくいのは大変だと思いました。



就業体験を希望する後輩に向けた助言等	漁師という仕事に世間はあまり良いイメージはありませんが、スーパーや飲食店に並んでいる魚は漁師の人たちが汗水流して獲った魚だと考えると、とても立派な仕事だと思います。ぜひ、体験してください。
--------------------	--

受入漁業者実施報告（双葉漁業生産組合） （幸盛丸 西村 貞利） （長栄丸 西村 長樹）	
実習生の評価	海の仕事に就きたいという意欲は強く感じた。仕事振りもよく、具体的な質問も多くしていた。人柄も良く、まじめに努めていた。
就業体験受入による成果	初めての实習生だったので不慣れなこともあり、効率よく実習させてあげられなかったように思う。 今後役に立てていきたい。
実習生へのメッセージ	条件が合えば是非、錦で働いてください。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	就業体験を通じて海の仕事に理解と関心を広げてほしい。



(3) 法政大学 キャリアデザイン学部 2年生／真珠養殖業

体験概要	
体験期間	平成30年8月20日～23日（4日間）
受入漁業者	志摩市阿児町神明 若狭大月真珠養殖株式会社
体験漁業／魚種	真珠養殖業（※）／アコヤ真珠
体験内容	母貝抑制、オゾンを用いた卵抜き工程 など
実習生	法政大学 キャリアデザイン学部 2年生

※真珠養殖業…筏や延縄に吊るしたかごで真珠貝を養殖して真珠を生産する漁業で、三重県が発祥地です。真珠のもとになる核を埋め込めるサイズまでアコヤガイを育てる「真珠母貝養殖」に1～2年、核を埋め込んで真珠を取り出すまでアコヤガイを育てる「真珠養殖」にさらに6～9ヶ月ほどかかります。

実習生レポート（法政大学 キャリアデザイン学部 2年生）	
志望動機	来年に控える就職活動について考え始めた。私の祖父は熊本为天草で漁師をしていたと聞いた。若くして他界したため、一度も会ったことはないが、幼い頃に写真を見たことがある。祖父が船に乗り、海で漁をしていたため、祖父の背中を追ってみたいとなった。
体験の目標	真珠養殖を理解する。 真珠ができるまでの過程を知る。
目標の達成度	真珠養殖の知識は、初めは全くありませんでした。貝の中に元々真珠は入っているもので、自然にできると思っていました。しかし、作業体験をさせて頂くにつれて、すごく手間をかけてあげなければならないと学びました。貝殻の掃除、オゾンにつけて卵抜き、貝同士の間隔を変えたりと、まめに手をかけてあげることでより良い真珠になることを知りました。
新たに発見したこと	どれだけ手間暇かけて真珠の手入れをしても、台風や赤潮などで、貝が死んでしまい、その年の収入がなくなることもあると知りました。大月真珠さんは親会社があるため給料は出るらしいですが、個人で養殖をされている方々にとっては死活問題になります。そういった自然災害が及ぼす影響も、養殖をする人々の人口を低下させる一つの要因となっていることを学びました。

就業体験を希望する後輩に向けた助言等	作業中はすごく暑いです。熱中症にならないように気を付けてください。また、貝で手を切ることがありますので、そこも気を付けてください。
--------------------	---

受入漁業者実施報告（若狭大月真珠養殖株式会社）	
実習生の評価	外での体力作業や室内での細かい作業など様々な業務を体験してもらいましたが、どの作業においても、熱心に耳を傾け、真面目に取り組んでいた印象があります。また、作業中に見つけることのできる生物にも興味を持ち、海の面白さも感じる事ができたと思います。
就業体験受入による成果	今までは、水産関係の大学で学んでいる学生しか受け入れることがありませんでしたが、他学科の学生を受け入れることで新たな視野を持った人材の参入につながるのではないかと感じました。これをきっかけに真珠養殖が世間に周知されることを期待します。
実習生へのメッセージ	4日間の就業体験お疲れさまでした。今回の体験を通して、真珠養殖業とはどのようなものかを少しでも感じて頂けたら嬉しいです。これからの大学生活では様々なことを経験していくと思いますが、それらを自分の糧として自分らしい道に進んでいってください。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	普段の生活ではあまり知ることのない真珠養殖ですが、テレビや街で見かける綺麗な真珠ができる環境や過程などを知る良いきっかけになると思います。これを機に少しでも真珠に興味を持っていただけると幸いです。



(4) 大阪府立すながわ高等支援学校 2年生／カキ養殖業

体験概要	
体験期間	平成30年8月21日～24日(4日間)
受入漁業者	志摩市磯部町の矢 有限会社佐藤養殖場
体験漁業／魚種	貝類養殖業／カキ
体験内容	カキ養殖漁場の見学、貝掃除、出荷作業など
実習生	大阪府立すながわ高等支援学校 2年生

※貝類養殖業…貝類養殖は、主に海上の筏に吊るしたロープやかごでカキ等の二枚貝を養殖する垂下式養殖で行われます。マガキは、プランクトンが豊富で静穏な海域で1年半ほどかけて養殖されます。

実習生レポート (大阪府立すながわ高等支援学校 2年生)	
志望動機	高校卒業したら漁業関係の仕事に就きたいと思っています。まだ漁業についてよくわからないので、そちらで体験をさせていただき、自分の将来について考えたいです。
体験の目標	カキの養殖を知ること。
目標の達成度	カキ養殖、浄化作業、出荷までの流れを知りました。又、カキやムール貝の掃除を一つ一つ手作業で行う大変さを体験できました。
新たに発見したこと	18時間もかけて浄化作業を行い、安全でおいしいカキになっていることがわかりました。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	貝の掃除など大変ではありますが、丁寧に説明していただけるので、楽しく作業が行えます。

受入漁業者実施報告（志摩市磯部町の矢 有限会社佐藤養殖場）

実習生の評価	まじめに丁寧に仕事をしていた。わからないことは質問していた。
就業体験受入による成果	いろいろな意味で、初心に帰ることができた。
実習生へのメッセージ	2年生の貴重な時間をありがとう。いろいろなことに挑戦してください。
今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ	何事も挑戦してください。将来のために役立つと思います。



(5) 三重大学 生物資源学部 2年生／魚類養殖業

体験概要	
体験期間	平成30年9月7日～9月11日（5日間）
受入漁業者	度会郡南伊勢町阿曾浦 有限会社友栄水産
体験漁業／魚種	魚類養殖業（※）／マダイ
体験内容	給餌作業、出荷作業、網掃除、加工体験 など
実習生	三重大学 生物資源学部 2年生

※魚類養殖業…海上での魚類養殖は、海面に設置した網生簀で魚類を養殖して出荷します。1年半～3年ほどかけて養殖するのが一般的です。早朝から給餌を行うほか、出荷や網交換の作業なども行います。

実習生レポート（三重大学 生物資源学部 2年生）	
志望動機	<p>大学にて様々な漁業について知り、漁業に興味湧き、実際に体験してみたいと強く感じて応募しました。</p> <p>また、現在の自分に足りないものを知ることで、就職までに必要な知識・技術・考え方を学び身に付けて行きたいと考えています。</p>
体験の目標	<p>大学の講義や書籍からは得られないことを体験したり、直接聞いたりすることで学ぶこと。自分の考え方、そして今後の生き方を見つめる。</p>
目標の達成度	<p>現場で聞きたいことを予め考えて体験に向かいましたが、その答えからこの先に繋がるものを見つけることができたと思う。ロープワークや細かな知識も吸収することができた。</p> <p>他のインターン生や地域の方々などとも交流することができ、とても良い経験でした。</p>
新たに発見したこと	<p>漁業でこのようにICTを使いこなしていることや漁業だけでなく、体験漁業やゲストハウスなどの新たな収入源への取組を見て、衝撃的でした。人と違ったことをすることが生き残る道を切り開くのだなと感じた。</p> <p>また、直前の台風のため、筏を湾内に避難させていたが、台風のたびに出し入れしていることは全く知りませんでした。</p>



<p>就業体験を希望する後輩に向けた助言等</p>	<p>行ってみないとわからないことが山ほどあります。意欲を持ち、とにかく現場を見ることが大切だと思います。その時、教えていただくという謙虚な姿勢とそれに感謝する気持ちを忘れないでください。</p> <p>有意義な体験ができる機会を逃すのはもったいないです。是非体験すべきだと思います。</p>
---------------------------	--

<p>受入漁業者実施報告（度会郡南伊勢町阿曾浦 有限会社友栄水産）</p>	
<p>実習生の評価</p>	<p>多くのことに興味を持ち、積極的に動き、学ぼうとしていました。もっと時間・期間が長ければ、彼自身もっと成長してくれたかも。</p>
<p>就業体験受入による成果</p>	<p>普段の仕事を言葉にして伝えることで、自分の仕事を改めて確認することができました。</p>
<p>実習生へのメッセージ</p>	<p>また、いつでも来てください。</p>
<p>今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ</p>	<p>自ら外に出て、体験することで得られるものがあると思います。魚類養殖に限らず、どんどん外に出て体験してください。</p>



(6) 三重県立水産高等学校 海洋・機関科 1年生／定置網漁業

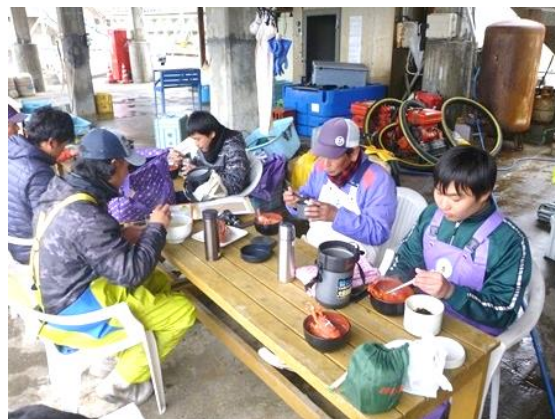
体験概要	
体験期間	平成30年12月25日～12月27日(3日間)
受入漁業者	熊野市磯崎町 宝盛水産 間部 誠
体験漁業／魚種	定置網漁業(※)／雑魚
体験内容	水揚げ作業、選別作業、網の補修作業など
実習生	三重県立水産高等学校 海洋・機関科 1年生

※定置網漁業…魚の通り道(魚道)に網を設置して魚群を誘導し、網に入り込んだ魚を漁獲する漁法です。早朝に出港して網に入った魚を漁獲し、帰港して漁獲物の選別作業などを行います。

実習生レポート(三重県立水産高等学校 海洋・機関科 1年生)	
志望動機	将来漁師になりたいくて、いろいろな漁業を体験してみたいと思ったから。
体験の目標	漁師さんの普段の生活や漁業の厳しさを知る。
目標の達成度	この体験を通じて、漁師という仕事の大変さ、厳しさ、やりがいなどを体験できたのはよかったです。また、漁師になるために、体力などがもっといることがわかりました。
新たに発見したこと	漁師になるためには、体力、精神面をもっと鍛えなければ、1年や2年で体を壊す可能性があるなので、積極的に運動をするのか大事だということがよくわかりました。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	将来、漁師や船関係の仕事に就きたいと思っている人は、就業体験先で、いろいろなアドバイスがもらえたり、苦労がわかったりするので、体験した方が将来のために絶対に役立つと思います。

受入漁業者実施報告(熊野市磯崎町 宝盛水産 間部 誠)	
実習生の評価	真剣に話を聞いて真面目に取り組んでいました。 もう少し期間が長ければ、いろいろしてもらえたと思います。
就業体験受入による成果	漁業者でない、それも若者ということで、自分たちの仕事を人に説明する難しさを実感しました。いい刺激になりました。

<p>実習生への メッセージ</p>	<p>がんばって漁師になる夢をかなえてください。 漁業は、運動神経や体力だけでなく、技術や知識が必要な仕事です。高校で学ぶ数学や科学の知識が活かされる場面もあるので、勉強はしっかりしておいて損はないと思います。</p>
<p>今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ</p>	<p>現場に来て体験しないと分からないことが、たくさんあると思います。興味のある方はぜひチャレンジしてください。</p>



(7) 三重大学 生物資源学部 3年生/魚類養殖業

体験概要	
体験期間	平成31年2月9日～2月13日(5日間)
受入漁業者	度会郡南伊勢町阿曾浦 有限会社友栄水産
体験漁業/魚種	魚類養殖業(※)/マダイ
体験内容	給餌作業、出荷作業、網掃除、加工体験 など
実習生	三重大学 生物資源学部 3年生

※魚類養殖業…海上での魚類養殖は、海面に設置した網生簀で魚類を養殖して出荷します。1年半～3年ほどかけて養殖するのが一般的です。早朝から給餌を行うほか、出荷や網交換の作業なども行います。

実習生レポート(三重大学 生物資源学部 3年生)	
志望動機	<p>大学一年生の時に大学の講義で三重県は海が豊かな県であることを知りました。学年が上がり、専門教育の内容が深まるにつれてその豊かな海で行われている漁業についての関心が高まっていきました。</p> <p>そんな折に県が主催する漁業就業体験の募集を目にしました。漁業についてさらに深く考える非常にいい機会であり、体験することでしか分からない漁業のポジティブな側面が数多くあると思うので、それらを経験・吸収したいと思い志望しました。</p>
体験の目標	実際の一次産業の現場を体験する
目標の達成度	<p>今まで漁業の体験はいくつか経験したことがあったが、断片的であったため、5日間通しての体験は非常に有意義なものであった。</p> <p>作業の一連の流れを把握することができたし、各作業の関連性も理解することができた。</p>
新たに発見したこと	活かしたマダイの輸送方法や自動給餌機のシステムなど、非常に合理的だった。若い世代の方々の加入も見られ、より漁業を身近に感じることもできた。
就業体験を希望する後輩に向けた助言等	知識には授業で学ぶことのできるものと、実際に体験することでしか得られないものがあると思います。体験して得た知識や技術は経験上いつまでも心に残り、かけがえのないものになると思います。座学だけではなく、実際に外へ出て多くの経験をしてください。

受入漁業者実施報告（度会郡南伊勢町阿曾浦 有限会社友栄水産）

<p>実習生の評価</p>	<p>仕事の流れをつかむには少し時間が足りなかったけど、出来る範囲での仕事への積極性は見られた。 魚好きが高じて、漁業を楽しんでいた。</p>
<p>就業体験受入による成果</p>	<p>学生個々のスキルが違うので、受入側としては面白い。 スタッフの学生との接し方もよくなってきている。</p>
<p>実習生へのメッセージ</p>	<p>また来ていただきたい。 学業、就職活動と忙しくなるとは思いますが、ここにも仕事ができる場所があるので焦らず、いつでも相談してくれたらいいです。</p>
<p>今後、就業体験を希望する学生等へのメッセージ</p>	<p>養殖というくりだけでなく、ここでは漁村を生きる学びがありますので、ぜひ来ていただきたい。 女性の方も歓迎です。</p>



## 2 漁業就業へのステップと支援制度

### (1) 就業相談・情報収集

- 三重県漁業担い手対策協議会への就業相談
- 漁業に関する就業フェアなどでの情報収集
- ・三重県津市で三重県農林漁業就業就職フェアが年間1回開催されるほか、東京や大阪などでも全国規模の漁業就業フェアが開催されています。

### (2) 漁業体験

- 各地で開催されている漁業体験プログラムやインターンシップに参加
- 【支援：就業促進研修事業（(公財)三重県農林水産支援センター）】
- ・2日間以上1週間以内の研修における宿泊費などの一部助成

### (3) 技術取得

- 受入漁業者のもとで長期の漁業技術の習得を行う。
- 【支援：就業促進研修事業（(公財)三重県農林水産支援センター）】
- ・2ヶ月以上10ヶ月以内の研修における宿泊費などの一部助成
- 【支援：新規就業者受入環境整備事業（(公財)三重県農林水産支援センター）】
- ・住宅手当の一部助成 等
- 【支援：漁業人材育成総合支援事業（水産庁）】
- ・長期研修支援…漁業現場での長期研修を行う際の研修経費の助成
- ・次世代人材投資（準備型）…漁業学校に準ずる機関で研修を受ける者に対する給付金

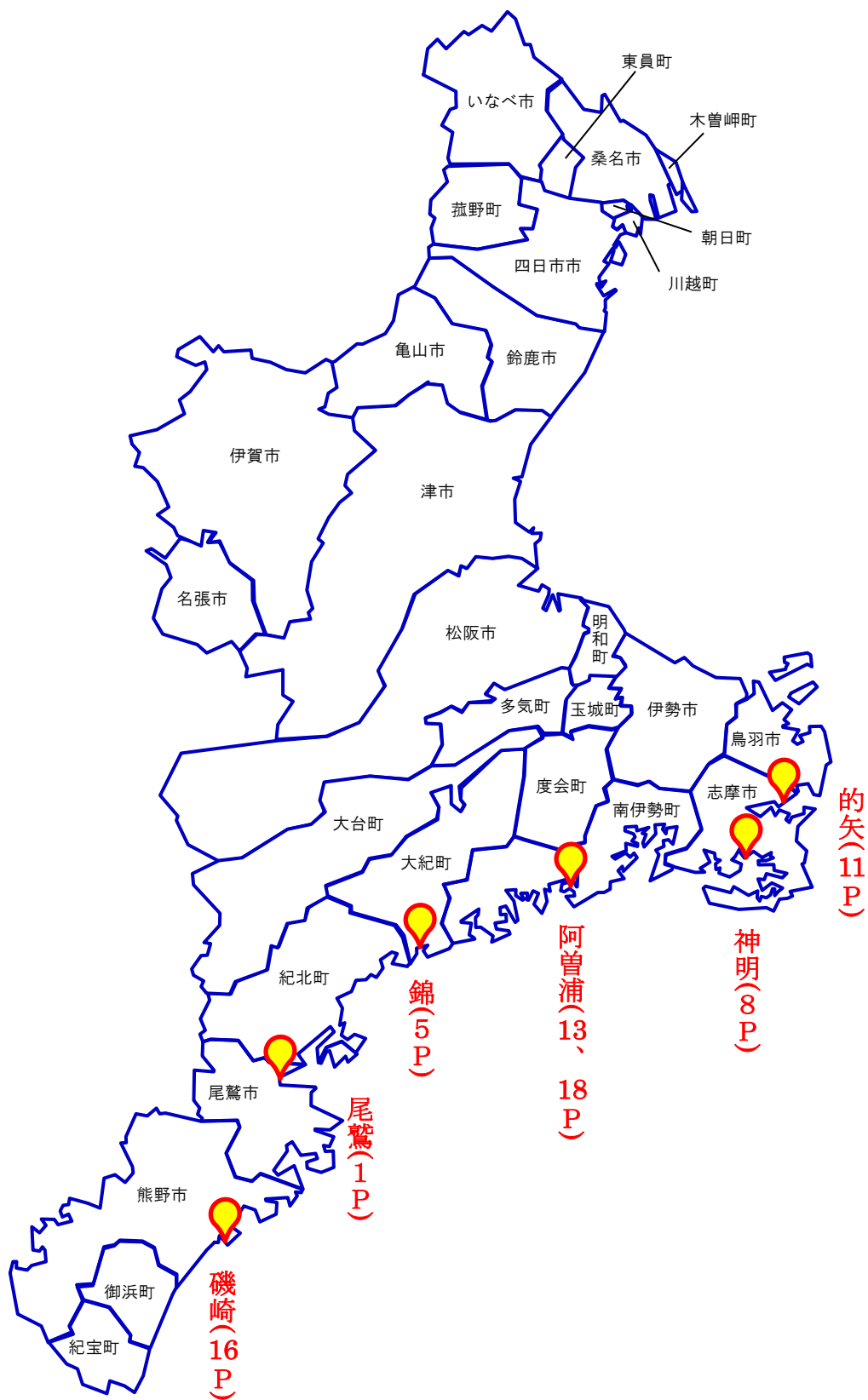
### (4) 漁業就業

- 〈雇 用〉漁業法人や個人経営体などのもとで就業
- 〈独立自営〉経験を積んだ後に独立して漁業経営を開始
- 【支援：沿岸漁業改善資金〈漁業経営開始資金〉（三重県）】
- ・新たに沿岸漁業の経営を開始しようとする40歳未満の方に対して、無利子で経営開始に必要な資金を貸付（上限2,000万円）

《漁業就業の相談や支援制度に関する問い合わせ窓口》

三重県漁業担い手対策協議会（三重県水産会館内）	TEL059-228-6670
(公財)三重県農林水産支援センター（担い手育成支援課）	TEL0598-48-1226
三重県農林水産部水産資源・経営課（漁業経営班）	TEL059-224-2606

### 3 漁業就業体験実施場所位置図







平成30年度 水産業・漁村を支える担い手の確保育成事業  
漁業就業体験レポート集

平成31年3月発行

三重県農林水産部水産資源・経営課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL：059-224-2606 FAX：059-224-2608

E-mail：suisan@pref.mie.lg.jp